

# 一紡いでゆく、みんなの防災 紡災ヴィラ

#こくみん防災村 in なら

パフォーマンス ワークショップ  
ひょうげ ロープ Hyouge Rope 氏 防災×インテリア



ロープだけを使って見せる  
新感覚のパフォーマンスショー



おしゃれに備える「ジェル  
キャンドルホルダー」づくり

大学生協



大学生による  
パネルディスカッション

医療生協



避難生活における  
健康維持・管理

衣



簡単に使える・作れる便利グッズ

食



ぼうさいカフェ

住



住まいに関する災害を模擬体験

タイム  
スケジュール

2F  
レセプションホール

12:00 開会挨拶

12:10-12:40  
パフォーマンス  
「Hyouge Rope」

12:40-12:50  
健康体操

13:50-14:20  
パフォーマンス  
「Hyouge Rope」

14:20-14:30  
健康体操

15:00-16:30  
湯煮温による  
ジェルキャンドル出張教室

17:00 閉会

1F  
能楽ホール

13:00-13:30  
「災害から命を守るために」  
奈良県総務部知事公室次長  
(防災統括室長) 中西 秀人氏

13:30-14:30  
「天気予報の見方・聞き方  
～防災情報はこう使う！～」  
気象予報士 片平 敦氏

14:45-15:45  
(第1部) 学生による  
パネルディスカッション

16:00-17:00  
(第2部) ワークショップ

基調講演

「災害から命を守るために」

奈良県総務部知事公室次長(防災統括室長) 中西秀人氏



奈良県防災統括室からは、ハザードマップや過去に発生した災害から地域の災害に関する特性を知ること、災害発生時の避難行動を詳細まで確認しておくこと、災害時には生命の安全確保を最優先課題とすることの大切さについて講演いただきました。



奈良教育大学と奈良県立大学の学生による  
パネルディスカッション  
「大学生が“紡ぐ”これからの防災のかたち」

奈良県下の大学生が主体となり、外国人留学生も交え、  
「奈良という地域ならではの防災課題」について  
多様な観点から議論しました。

議論A 「防災活動」から「地域づくり」へ

議論B 歴史文化財の防災対策

議論C 災害時の交通インフラ確保

議論D 防災活動からのつながり



各議論に共通する課題の一つとして、「災害発生時の情報共有」があげられました。  
特に奈良県に多い外国人来訪者への災害時の情報共有対策とは？

